

4 環 境 部

目 次

(1) 米軍施設の環境対策（継続）	45
(2) 世界自然遺産登録推進事業（継続）	47
(3) 外来種対策事業（継続）	49
(4) マングース対策事業（継続）	50
(5) 自然環境再生支援事業（継続）	51
(6) サンゴ礁の保全再生（継続）	52
(7) 国立自然史博物館誘致推進事業（継続）	54
(8) ジュゴン保護対策事業（継続）	55
(9) 動物救護事業（継続）	56
(10) 外来植物防除対策事業（継続）	57
(11) 全島緑化県民運動推進事業（継続）	58
(12) 海岸漂着物等地域対策推進事業（継続）	59
(13) 赤土等の流出防止対策（継続）	61
(14) おきなわ型省エネ設備等普及事業（継続）	63
(15) 低炭素島しょ社会実現に向けた地球温暖化防止対策等事業（継続）	64

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用

重点施策事業名：米軍施設の環境対策（継続）

事業期間：平成29年度～令和3年度

部課等名：環境部 環境政策課

1 事業の目的・内容

返還予定基地等、在沖米軍基地に係る環境情報の収集、環境調査方法の検証等を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
米軍施設の環境対策	13,606	1 基地返還に係る環境対策事業 ・在沖米軍基地に関する地歴、環境事故等に関する資料を収集し環境カルテを更新する。 ・行政機関職員を対象にリスクコミュニケーションを学ぶための研修会を開催する。 県民を対象に基地から派生する環境問題への関心を喚起するためのセミナーを開催する。 ・返還予定の在沖米軍基地で使用が想定され、法に環境基準の定めがない化学物質について整理し、沖縄における対応の必要性を検証する。	13,038	1 基地返還に係る環境対策事業 ・米国内のコロナ感染状況を踏まえ、米国での資料収集は見送り、過年度資料を再度精査し、環境カルテを更新した。 ・行政機関職員向け研修会を12名が受講した。 県民向けセミナーはコロナ感染状況を踏まえ開催を見送り、代替としてDVDを作成し宜野湾市地主会に配布した。 ・米国内における基地閉鎖・縮小時の調査レポート収集による米本国基地の汚染化学物質の収集整理、在沖米軍基地周辺の地下水質調査、有識者ヒアリング及び検討会を行った。	☆ 最終予算額 13,606 執行率 95.8% 不用額 568

3 事業の効果/課題

(1) 基地返還に係る環境対策事業

効果： 米軍基地に関する環境情報及び汚染化学物質の整理、蓄積ができた。
県民視点での情報公開の重要性とその手法に関する理解が深まった。
米軍活動に起因する土壌汚染等への県民の関心が高まった。

課題： 収集した資料を環境カルテに効率的に反映していくため、収集する資料の年代・収集機関の優先順位をつけていく必要がある。
研修会の講義内容・カリキュラムが、受講者の実態に応じたものか検証し、改善に努める必要がある。
セミナーの開催に係る県民への周知方法等について更なる検討が必要である。
管理目標値の設定が必要な化学物質の知見の収集に十分な時間等を確保する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：世界自然遺産登録推進事業（継続）

事業期間：平成25年度～令和3年度

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

自然遺産登録の早期実現を図るため、遺産価値（生物多様性）の維持や持続的利活用の推進体制の構築、登録に向けた機運の醸成に係る各種取組を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界自然遺産登録推進事業	227,814	1 世界自然遺産登録推進事業 ・世界自然遺産登録を早期に実現し、遺産価値の維持と適正な利活用の両立を図るため、次の事業に取り組む。 ①地域部会の運営及び「地域別行動計画」の検証 ②持続可能な観光及び地域振興の推進 ③地域団体の遺産管理への参画促進 ④イリオモテヤマネコの交通事故防止対策の検討 ⑤ノイヌ・ノネコ対策 ⑥世界自然遺産登録に係る普及啓発 ⑦希少種の密猟・盗採防止対策	224,017	1 世界自然遺産登録推進事業 ・世界自然遺産登録を早期に実現し、遺産価値の維持と適正な利活用の両立を図るため、次の事業を実施した。 ①地域部会を開催し、「地域別行動計画」の検証、見直しを行った。 ②地域毎の適切な観光管理及び沖縄島北部地域での地域振興に取り組んだ。 ③地域団体が行う自然環境保全活動へ助成した。 ④イリオモテヤマネコの交通事故防止対策（ハード対策・ソフト対策）を検討・実施した。 ⑤やんばる地域においてノイヌ・ノネコの捕獲・排除を実施した。また、県内全域を対象に犬猫遺棄防止のための普及啓発を実施した。	☆ 最終予算額 227,814 執行率 98.3% 不用額 3,797

				⑥世界自然遺産登録に係る理解促進及び機運醸成のため、各種普及啓発活動を実施した。 ⑦森林内パトロールや林道夜間通行止め実証実験等を実施した。	
--	--	--	--	---	--

3 事業の効果/課題

(1) 世界自然遺産登録推進事業

- 効果： ①沖縄島北部及び西表島の各地域部会等を通じて関係者間で協議し、「地域別行動計画」の検証・見直しを行った。
- ②令和元年度に策定した「沖縄島北部における持続的観光マスタープラン」及び「持続可能な西表島のための来訪者管理基本計画」に基づき、沖縄島北部地域では地元観光協会と連携した観光客の周辺地域への計画的誘導のための取組、西表島では来訪者の管理に資する取組を行った。また、北部三村での世界自然遺産ブランドを活用した地域振興モデル事業の立ち上げに向けて地元関係団体と協議した。
- ③自然環境保全に関する地域団体の取組に対し費用を助成して（3団体）、地域社会との協働による遺産の管理を促進した。
- ④「ヤマネコの交通事故防止対策基本計画」に基づく対策として、ヤマネコの路上進入抑制柵の実証実験、交通事故防止に係る普及啓発資料の開発及び普及啓発活動を実施した。
- ⑤やんばる地域において、ノイヌ2頭、ノネコ56頭を捕獲・排除した。また、県内全域を対象に犬猫遺棄防止等に係る普及啓発を行い、ノイヌ・ノネコの発生源対策を強化した。
- ⑥様々な媒体を活用した普及啓発（モノレール等ラッピング広告、移動パネル展、図画コンクール、普及啓発イベント等）を行った結果、世界自然遺産登録の推薦地であることの認知度は68%（前年度63%）と向上した。
- ⑦密猟・盗採防止のためのパトロール強化や夜間林道通行止め実証実験の実施等により、密猟・盗採の痕跡及びトラップ（密猟用の罠）設置箇所を把握した。

課題： 遺産登録の実現及び登録後の遺産価値の保全と適正な利活用を図っていくために、以下の課題に取り組む必要がある。

- ①地域社会との協働による遺産の管理体制の構築
- ②国内希少種イリオモテヤマネコのロードキルの防止
- ③やんばる地域における野生化した犬・猫（ノイヌ・ノネコ）による希少野生動物捕食被害の防止
- ④県内外における世界自然遺産登録（遺産価値や保全の重要性等）に関する理解を深めるための継続的な普及啓発の実施
- ⑤希少野生生物の密猟・盗採の防止

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：外来種対策事業（継続）

事業期間：平成27年度～令和3年度

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

沖縄県の生態系を保全するため、沖縄県外来種対策指針等に基づき、県内に定着している外来種の捕獲、未定着外来種の侵入・定着防止対策を実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
外来種対策事業	87,448	1 外来種対策事業 ・令和元年度に策定した外来種対策行動計画を基に、防除事業等を実施する。	89,213	1 外来種対策事業 ・令和元年度に策定した外来種対策行動計画を基に、防除事業等を実施した。	☆ 最終予算額 89,557 執行率 99.6% 不用額 344

3 事業の効果/課題

(1) 外来種対策事業

効果： 令和元年度に策定した外来種対策の具体的な取組事項を定めた「沖縄県外来種対策行動計画」を基に、グリーンアノール等生態系に与える影響が大きい肉食性の外来種について、捕獲等を実施した。

課題： 生態系への影響が大きく重点的に駆除等を行う必要がある重点対策種については、「沖縄県外来種対策行動計画」に基づく取組を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：マングース対策事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

北部地域におけるマングースの侵入防止及び捕獲を徹底し、希少種等の生息分布域の回復を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マングース対策事業	86,555	1 マングース対策事業 ・貴重な固有種が生息する沖縄島北部地域の生態系を保全するため、マングースの捕獲を実施するとともに、希少種の回復状況調査を実施する。	86,345	1 マングース対策事業 ・沖縄島北部地域においてマングースの捕獲及び希少種の回復状況調査を実施した。	☆ 最終予算額 86,555 執行率 99.8% 不用額 210

3 事業の効果/課題

(1) マングース対策事業

効果： 沖縄県では、マングースの北上を防止するための柵を3地域で設置しており、令和8年度までに第一北上防止柵（大宜味村塩屋と福地ダムを結ぶライン上に設置。S Fライン。）以北におけるマングースの完全排除を目指し、環境省と協働してマングースの捕獲を行っている。

県事業においては、平成29年度からS Fライン以南における捕獲を強化しており、令和2年度は409頭を捕獲し、S Fライン以北へのマングースの侵入を防止した。

その結果、S Fライン以北における年間捕獲数は33頭で、最大であった平成19年度の619頭から大幅に減少しており、マングースの生息数は減少しているものと推測される。また、希少種回復状況調査において、ヤンバルクイナ等の生息範囲の拡大も確認できている。

課題： S Fライン以北における年間捕獲数は、この数年は30頭前後で推移しており、下げ止まりの状況が続いている。

S Fライン以北の完全防除を実現するためには、S Fライン以南のマングース密度の低減を図り、侵入を防ぐ必要があることから、既存のわなに容易に誘引されない残存個体対策として、マングース探索犬や新規わなによる排除方法を強化していく必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：自然環境再生支援事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：環境部 環境再生課

1 事業の目的・内容

沖縄らしい自然環境を次世代に継承するため、沖縄県自然環境再生指針（H27.3）を踏まえた再生事業を実施する市町村に対し支援を行うとともに、活動団体のネットワーク形成を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
自然環境 再生支援 事業	28,701	1 自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業 ・沖縄らしい自然環境を維持、再生するために、平成27年度に策定した沖縄県自然環境再生指針を踏まえた自然再生事業を実施する市町村の活動を支援し、また、活動団体のネットワーク形成を図る。	25,310	1 自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業 ・沖縄らしい自然環境を維持、再生するために、平成27年度に策定した沖縄県自然環境再生指針を踏まえた自然再生事業を実施する浦添市及びうるま市の活動を支援し、また、活動団体のネットワーク会議を開催した。	☆ 最終予算額 28,701 執行率 88.2% 不用額 3,391

3 事業の効果/課題

(1) 自然環境の保全・再生・防災機能戦略的構築事業

効果： 指針に基づき自然環境再生事業を実施する浦添市及びうるま市に財政支援及び助言を行い、両市が行う自然環境再生事業への支援を行った。また、活動団体のネットワーク形成に向けて開催したネットワーク会議におけるアンケートで、参加者全員が自然環境再生事業に関して理解が深まったと回答した。

課題： 自然環境再生事業を推進するため、引き続き地域主導で実施できる体制を支援するとともに、関係者間で情報共有できるようネットワーク形成を図っていく。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：サンゴ礁の保全再生（継続）

事業期間：平成29年度～令和3年度

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

サンゴ礁の生態系の保全・再生を図るため、サンゴ礁の保全・再生につながる調査研究やオニヒトデ対策などを実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サンゴ礁 の保全再 生	68,959		68,125		☆ 最終予算額 68,959 執行率 98.8% 不用額 834
	48,057	1 サンゴ礁保全 再生地域モデル 事業 ・サンゴ種苗の低 コスト生産技術の 開発等の調査研究 を実施する。 ・モデル地域（2 地域）内における サンゴ礁保全再生 活動に対する支援 を行う。	47,487	1 サンゴ礁保全 再生地域モデル 事業 ・サンゴ種苗の低 コスト生産技術の 開発等の調査研究 を実施した。 ・モデル地域（2 地域）内における サンゴ礁保全再生 活動に対する支援 を行った。	最終予算額 48,057 不用額 570
	20,902	2 オニヒトデ対 策普及促進事業 ・オニヒトデ大量 発生防止対策（予 察等）について、 モニタリングを行 う。 ・オニヒトデ対策 に効果的な調査研 究を実施する。	20,638	2 オニヒトデ対 策普及促進事業 ・オニヒトデ大量 発生防止対策（予 察等）について、 モニタリングを行 う。 ・オニヒトデ対策 に効果的な調査研 究を実施する。	最終予算額 20,902 不用額 264

3 事業の効果/課題

(1) サンゴ礁保全再生地域モデル事業

効果： サンゴ種苗の低コスト生産技術の開発やモデル地域内におけるサンゴ礁保全再生活動に対する支援を行うことにより、サンゴ礁の保全再生の取組を推進した。

課題： サンゴ礁保全再生対策地域協議会が自立的にサンゴ礁保全再生活動を継続してできるように基盤強化を図る必要がある。

(2) オニヒトデ対策普及促進事業

効果： 稚ヒトデのモニタリング（オニヒトデ大量発生防止対策）や効果的な調査研究を実施することにより、オニヒトデ対策を推進した。

課題： 国外も含めた専門家との連携を図りながら、オニヒトデ大量発生予察手法の開発を含め、効果的な対策について調査研究を継続する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：国立自然史博物館誘致推進事業（継続）

事業期間：平成30年度～

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、県民や関係団体への普及啓発、国への調整等を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
国立自然史博物館誘致推進事業	4,252	1 国立自然史博物館誘致推進事業 ・国立自然史博物館の設立意義、沖縄の優位性、期待される効果等について、県内での普及啓発を行い気運醸成を図るとともに、国への要請等を行い、誘致に努めていく。	3,712	1 国立自然史博物館誘致推進事業 ・県内で誘致に向けた気運醸成を図るため、県主催のもと、令和3年2月にシンポジウムをオンラインで開催し、県内における気運醸成を図った。	最終予算額 4,813 執行率 77.1% 不用額 1,101

3 事業の効果/課題

(1) 国立自然史博物館誘致推進事業

効果：（一社）国立自然史博物館設立準備委員会等と連携し、シンポジウムを開催し、県内における気運醸成が図られた。

課題：県民や経済団体等への更なる気運醸成を図るとともに、国に対して要請等を行い、理解を求める必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：ジュゴン保護対策事業（継続）

事業期間：平成28年度～令和2年度

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

絶滅の危険性が高いジュゴンの保護を目的として、ジュゴンの生息状況等に関する調査や保護対策の検討などを行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
ジュゴン 保護対策 事業	10,331	1 ジュゴン保護 対策事業 ・生息状況調査、 普及啓発、藻場特 性の整理、主要海 域情報図の更新、 検討委員会の開催 を通して、ジュゴ ン保護に関する方 策の検討を実施す る。	14,593	1 ジュゴン保護 対策事業 ・生息状況調査、 普及啓発、藻場特 性の整理、主要海 域情報図の更新、 検討委員会の開催 を通して、ジュゴ ン保護に関する方 策の検討を実施し た。	最終予算額 14,995 執行率 97.3% 不用額 402

3 事業の効果/課題

(1) ジュゴン保護対策事業

効果： ジュゴンの食み跡や藻場に関する情報等の集積や混獲対策などの普及啓発等を実施することにより、絶滅の危機に瀕した本県周辺海域に生息するジュゴンの保護対策を推進した。

課題： モニタリング等の継続や、環境省や研究機関等と連携して取り組むなど、本県周辺海域に生息する個体が利用する海域や餌場となる海草藻場を探知し、ジュゴンに関する効果的な保護対策を検討・実施する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：動物救護事業（継続）

事業期間：平成28年度～

部課等名：環境部 自然保護課

1 事業の目的・内容

県の遊休施設を活用し、動物愛護管理センターに犬猫譲渡推進棟を設け、犬猫の譲渡機会の拡大に向けた飼育管理の試行を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
動物救護 事業	29,307	1 動物救護事業 ・犬猫譲渡拠点として仮供用し、譲渡用の犬猫の収容を行うと共に、譲渡活動を行う。 ・令和4年度からの本供用に向け、譲渡推進事業の運用内容について検討をする。	27,282	1 動物救護事業 ・犬猫譲渡拠点として仮供用し、譲渡用の犬猫の収容を行うと共に、譲渡活動を行った。 ・令和4年度からの本供用に向け、譲渡推進事業の運用内容について検討を行った。	最終予算額 27,679 執行率 98.6% 不用額 397

3 事業の効果/課題

(1) 動物救護事業

効果：県の遊休施設（旧ハブ研究施設）を活用し、譲渡推進棟の仮供用を開始することで、犬猫の譲渡の機会を増やすことができた。

課題：令和4年度の本供用開始に向け、仮供用中の運用や建物の構造の問題点の収集に努めることで運用マニュアルや設計に反映させ、犬猫の譲渡、傷病野生鳥獣の収容及び災害時の救護に効果的な施設を構築する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：外来植物防除対策事業（継続）

事業期間：令和元年度～令和3年度

部課等名：環境部 環境再生課

1 事業の目的・内容

沖縄の生物多様性の保全及び観光立県にふさわしい良好な景観形成を確保するため、在来植物の生育を阻害するギンネムの拡散防止・駆除技術の確立を行う。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
外来植物 防除対策 事業	23,284	1 外来植物防除 対策事業 ・外来植物防除対 策有識者委員会の 開催。 ・ギンネムの防除 対策技術に係る実 証試験及びモニタ リングの実施。	23,282	1 外来植物防除 対策事業 ・外来植物防除対 策有識者委員会を 2回開催した。 ・ギンネムの防除 対策に必要な実証 試験及びモニタリ ングを実施した。	☆ 最終予算額 23,284 執行率 99.9% 不用額 2

3 事業の効果/課題

(1) 外来植物防除対策事業

効果： 実証実験及びモニタリングの実施により、ギンネムの防除対策に必要な一定の知見が得られたことから、これらの結果や有識者委員会の提言を踏まえ、ギンネム防除対策に必要なマニュアルの素案を策定した。

課題： 専門的知見を有する有識者から、適宜、指導・助言を得て実証試験及びモニタリングを実施することで、効果的な事業の推進に努める必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：全島緑化県民運動推進事業（継続）

事業期間：平成20年度～令和13年度

部課等名：環境部 環境再生課

1 事業の目的・内容

全県的な緑化活動を推進するため、全島緑化県民運動推進会議を開催するほか、地域住民による緑化活動の促進を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
全島緑化 県民運動 推進事業	8,247	1 全島緑・花・ 香いっぱい運動 事業 ・沖縄県全島緑化 県民運動推進会議 の開催。 ・花のゆりかご事 業による地域・学 校の緑化。 ・CO2吸収量認証 制度説明会の開催 及び認証審査委員 会の開催。	7,739	1 全島緑・花・ 香いっぱい運動 事業 ・沖縄県全島緑化 県民運動推進会議 を開催した。 ・花のゆりかご事 業で生産した花苗 約36,000本により 地域・学校緑化を 図った。 ・CO2吸収量認証 制度説明会を1 回、認証審査員会 を1回開催し、2 件を認証した。	最終予算額 8,247 執行率 93.8% 不用額 508

3 事業の効果/課題

(1) 全島緑・花・香いっぱい運動事業

効果： 全島緑化県民運動推進会議の開催により、関係機関が緑化活動の推進に継続して取り組んでいくことが確認された。また、花のゆりかご事業及びCO2吸収量認証制度の実施により、学校、地域住民及び企業による緑化活動が促進できた。

課題： 全県的な緑化活動のさらなる推進のため、全島緑化県民運動推進会議の開催等を通じて、関係機関の連携を強化する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：海岸漂着物等地域対策推進事業（継続）

事業期間：平成27年度～

部課等名：環境部 環境整備課

1 事業の目的・内容

県内海岸の良好な景観及び環境保全を図るため、海岸漂着物の回収処理、漂着状況等の調査研究、発生抑制対策等の海岸漂着物等対策を実施する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
海岸漂着物等 地域対策推進 事業	140,749	1 海岸漂着物等 地域対策推進事 業 ・ 県全域で海岸漂 着ごみの回収を行 うほか、漂着ごみ 中の有害物質によ る海浜への影響を 調査する。 ・ 漂着状況の把握 のほか、有識者及 びボランティア団 体等との協働によ り発生抑制対策を 検討する。	146,744	1 海岸漂着物等 地域対策推進事 業 ・ 県全域で約533 トン（約5,053m ³ ） の海岸漂着ごみを 回収した。また、 海浜への影響を明 らかにするため、 海浜周辺における 土壌中の重金属の 含有状況を調査し た。 ・ 漂着状況の継続 調査を行った。ま た、発生抑制対策 に係るワーキング グループで対策を 検討したほか、一 般県民向けに発生 抑制に関する教材 の作成を行った。	最終予算額 154,406 執行率 95.0% 不用額 7,662

3 事業の効果/課題

(1) 海岸漂着物等地域対策推進事業

効果： 県全域で約533トン（約5,053m³）の海岸漂着ごみを回収し、海岸の良好な景観及び環境を保全した。また、発生抑制対策に関する一般県民向けの教材を作成した。

課題： 沖縄県では海外由来の海岸漂着ごみが多く、県や市町村で発生源対策を講じることが困難であり、国による取組が必要である。また、一度回収しても繰り返し漂着するため、継続的に処理できる体制が必要である。

4 その他

国の9割補助事業（地域環境保全対策費補助金）を活用して回収・処理等を行っているが、平成29年度より補助金要望額の1/2程度の交付となっており、全国知事会や九州地方知事会等を通して国に事業の継続や財源の確保を求めている

ところである。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：赤土等の流出防止対策（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：環境部 環境保全課

1 事業の目的・内容

「沖縄県赤土等流出防止条例」及び「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」に基づいて実施する施策により、赤土等流出防止対策を推進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
赤土等の 流出防止 対策	106,578		126,479		最終予算額 136,143 執行率 92.9% 不用額 9,664
	15,297	1 赤土等流出防止対策推進事業 ・赤土等流出防止対策等の周知活動の一環として、県民を対象とした赤土等流出防止交流会や土木業者等を対象とした講習会を開催する。 ・赤土等流出防止対策の徹底を図るため、監視パトロールを実施する。	12,323	1 赤土等流出防止対策推進事業 ・赤土等流出防止交流会を1回実施し、赤土等流出防止対策講習会を中部地区で1回実施した。また、講習会の資料をオンラインで公開した。 ・開発事業に対する監視パトロールをのべ254件実施した。	最終予算額 14,613 不用額 2,290
	14,406	2 赤土等流出防止活動支援事業 ・赤土等流出防止活動団体への支援のほか、環境教育等を実施する。 (1)赤土等防止活動団体への補助金：6団体 (2)環境教育等の実施：11回	17,734	2 赤土等流出防止活動支援事業 ・赤土等流出防止活動団体への支援のほか、啓発ツールの作成や環境教育等を実施した。 (1)赤土等防止活動団体への補助金：3団体 (2)環境教育等の実施：11回	☆ 最終予算額 21,155 不用額 3,421
	76,875	3 赤土等流出防止海域モニタリング事業	96,422	3 赤土等流出防止海域モニタリング事業	☆ 最終予算額 100,375

	<p>・ 沖縄県赤土等流出防止対策基本計画に基づき、赤土等堆積状況調査及び生物生息状況調査を実施する。</p> <p>(1)赤土等堆積状況調査 ・ 県内28海域:年3回</p> <p>(2)生物生息状況調査 ・ 県内28海域:年1回</p> <p>(3)陸域調査 ・ 県内全域76海域の流域:年2回</p>	<p>・ 赤土等堆積状況調査及び生物生息状況調査を実施した。</p> <p>(1)赤土等堆積状況調査 ・ 県内28海域:年3回 ただし冬季調査は県内全域76海域を対象に調査を実施</p> <p>(2)生物生息状況調査 ・ 県内28海域:年1回</p> <p>(3)陸域調査 ・ 県内全域76海域の流域:年2回</p>	<p>不用額 3,953</p>
--	---	--	----------------------

3 事業の効果/課題

(1) 赤土等流出防止対策推進事業

効果： 沖縄県赤土等流出防止条例に基づき届出・通知された開発行為について、流出防止対策内容の厳正な確認、及び、監視パトロールの実施により、開発行為からの赤土等による濁水の発生防止に寄与した。

また、赤土等流出防止交流集会及び赤土等流出防止対策講習会の開催により、赤土等流出防止対策の技術及び意識の向上が図られた。

課題： 依然として無届出・無通知や対策不備等の現場が見られることから、条例に基づく監視パトロールを強化するとともに、引き続き交流集会及び講習会を開催し、技術の向上及び普及を行う必要がある。

(2) 赤土等流出防止活動支援事業

効果： 赤土等流出防止活動を行う3団体への補助金交付によりグリーンベルト植栽活動等の流出防止対策が実施され、また環境教育等を11回実施したことにより、地域における赤土流出問題意識の醸成に寄与した。さらに学習ツールとして動画及びパンフレットを作成し公開したことで、赤土流出問題に関する意識の向上が図られた。

課題： 環境NPO団体に対して、本事業の趣旨等を説明し理解してもらうことで、補助金団体の拡大に努める必要がある。

(3) 赤土等流出防止海域モニタリング事業

効果： 沖縄県赤土等流出防止対策基本計画に示された、「重点監視海域」等の堆積状況調査や陸域調査を実施することで、流出防止対策の効果検証や進捗管理に活用された。また当該調査結果は、事業実施部局で行われる流出防止対策に反映された。

課題： 海域の赤土等堆積状況の改善のため、引き続き関係機関と連携して、赤土等流出防止対策の推進を図る必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：おきなわ型省エネ設備等普及事業（継続）

事業期間：令和元年度～令和3年度

部課等名：環境部 環境再生課

1 事業の目的・内容

低炭素社会の実現を図るため、県内の観光関連施設等への省エネ設備の普及に取り組むことで温室効果ガス排出量の削減を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 型省エネ 設備等普 及事業	38,391	1 おきなわ型省 エネ設備等普及 事業 ・観光関連施設 (旅館、ホテル等) が行う省エネ設備 導入に対して5件 程度補助する。	31,566	1 おきなわ型省 エネ設備等普及 事業 ・観光関連施設 (旅館、ホテル等) が行う省エネ設備 導入に対して3件 の補助を行った。	☆ 最終予算額 31,642 執行率 99.7% 不用額 76

3 事業の効果/課題

(1) おきなわ型省エネ設備等普及事業

効果： 観光関連施設が行う省エネ設備導入に対して3件の補助を行った。
(二酸化炭素削減見込量：427t/年)

課題： 観光関連施設は、新型コロナウイルスの影響により新たな設備投資が困難な状況と思料されることから、関係団体への早めの情報提供とニーズの把握を行い、大規模なものに限らず、比較的規模の小さい省エネ改修事業に対しても周知を図る必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：世界に誇る沖縄の自然環境を守る

重点施策事業名：低炭素島しょ社会実現に向けた地球温暖化防止対策等事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和2年度

部課等名：環境部 環境再生課

1 事業の目的・内容

低炭素社会の実現を図るため、よりクリーンかつ安全、低コストなエネルギーであるLNG（液化天然ガス）の県内への普及を促進する。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和2年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
低炭素島 しょ社会 実現に向け た地球温暖 化防止対策 等事業	40,706	1 低炭素島しょ 社会実現に向け た地球温暖化防 止対策等事業 ・重油等からク リーンなエネル ギーであるL NG（液化天然 ガス）への 転換を促進す るため、事業 者等に対し てLNGサテ ライト設備の 設置費用を 補助する。	0	1 低炭素島しょ 社会実現に向け た地球温暖化防 止対策等事業 ・新型コロナウイルス の影響により 補助実績なし。	☆ 最終予算額 0 執行率 0%

3 事業の効果/課題

(1) 低炭素島しょ社会実現に向けた地球温暖化防止対策等事業

効果： これまでの補助実績6件も含めて、県内に14箇所のLNGサテライトが整備されており、県内のLNG利用環境は整ってきている。

課題： 令和2年度は1件のエネルギー多消費型事業者に対してLNGサテライト設備の導入支援を行う予定であった。しかし、支援予定事業者が観光関連業者であり、新型コロナウイルスの影響を大きく受けて設備投資が困難になったことから執行を見送った。